



東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 ＜職員・職場紹介＞



組織委員会では、様々な自治体からの派遣職員が活躍しています。
自治体職員のみなさんがどんな職場でどんな仕事をしているか、その一部をご紹介します。

【総務局 吉村次長（人事部長兼務）からのメッセージ】

One Team for Our Dreams みんなの夢を実現する、一つのチーム

オリンピック・パラリンピックは、平和時における地球最大のプロジェクトと言われています。リオ大会・平昌大会が終了し、東京2020大会の開催準備も本格化しています。計画を策定し、数々の関係者と調整し、大会本番にはボランティアや委託業者を含め、約20万人を中心となって動かす。これが、組織委員会の仕事です。国籍も背景も異なる様々な人々が集まり、日本中、世界中の人々の夢をのせたプロジェクトの成功に向け、一つのチームになって働いています。ぜひ、チャレンジしてみてください。



吉村次長（前列中央）と人事部のメンバーです。
一緒に働けるのを楽しみにしています！

職員・職場紹介

マーケティング局ブランド管理部ブランド管理課 阿部学さん（千葉県・事務職・係長級）

【自己紹介】

千葉県の阿部です。2017年4月からこちらにお世話になっています。
県では地域の魅力発信、中小企業の支援、MICEの振興などの業務を担当していました。

【現在の職場での仕事内容は？】

大会インバウンド・各種用語など大会の知的財産の管理や、競技会場のブランド表示の適正化（グリーンバニュー）の業務に従事しています。自治体と関わる機会も多く、自治体出身者も、たくさん働いています（⇒オフィスはまだ余裕あります。仲間になってくれる方お待ちしてます！）



オフィスフロアにて

【仕事のやりがいとは？】

大会の知財保護は、目立つ存在ではありませんが、大会のブランド価値向上や、マーケティング収入の確保を下支えする、いわば組織委員会の縁の下の力持ちの存在です。このミッションを達成するためには、組織内はもとより、自治体、広告代理店、競技団体、メディア、競技会場等々、様々な関係者の理解と協力を得なければならず、自治体での行政経験はとても役に立ちます。

大会準備運営第一局大会計画部ア krediteーション課 荻野穰さん（相模原市・事務職・係長級）

【自己紹介】

2016年4月より、相模原市から派遣されております。組織委員会の英語学習サービスを活用しながら、語学力の向上に努める日々です。

【現在の職場での仕事内容は？】

IOC/IPCやアスリート等、大会関係者のア krediteーション(身分証)の発行を計画しています。ア krediteーションは大会で働く人が入れるエリアをコントロールするほか、入国時の手続きをスムーズにする役割があります。



冬季アジア札幌大会への支援派遣時の様子
(最後列が荻野さん)

【仕事のやりがいとは？】

大会時は空港サービスや輸送、セキュリティなど様々なシーンでア krediteーションが活用されるため、色々なセクションと仕事のリレーをしながら、東京2020大会のおもてなしとなる大会サービスを作り上げていきます。日本政府やIOC/IPC、各国オリンピック委員会などと多くの調整をこなす必要がありますが、メンバー一人ひとりが1つの目標を目指して進んでいくダイナミックさがあります。

企画財務局企画部企画課 鈴木健司さん（川崎市・事務職・係長級）

【自己紹介】

2018年4月より川崎市から派遣中の鈴木です。スポーツや文化の仕事をしたいと思って公務員を志した私にとっては「生涯たった一度のチャンス！」と考え派遣にエントリーしました。

【現在の職場での仕事内容は？】

企画部と経営企画・改革推進室の兼務で、組織委員会が大会に向けて様々な決定・決断をするにあたっての全体調整のほか、政府・各省庁や団体への対応を担当しています。

【仕事のやりがいは？】

大会に向けてクリアすべきことは満載ですが、ワクワク感到満ちた刺激的な日々です。また200超の団体から集まった多彩な職員と過ごす中では、多様性が可能性を広げていくことを実感するとともに、役所にいる中で無意識に培ってきた「当たり前」とか「論理」がいかに小さなものかを感じる毎日です。私たち行政が支えていく社会の広さを改めて見つめ直すとてもよい機会になります。



勤務先の虎ノ門ヒルズにて

スポーツ局競技運営部競技運営調整課 渡部清香さん（横浜市・事務職・係長級）

【自己紹介】

2016年4月、スポーツ局に配属されました渡部清香です。民間企業での勤務経験を経て横浜市に転職し、外国企業の誘致やシティープロモーション等に携わって参りました。

【現在の職場での仕事内容は？】

競技運営計画策定に向けて、国際・国内競技団体と関係部署との連絡調整をしています。

【仕事のやりがいは？】

民間と行政が共働する壮大なプロジェクトは、想像を絶する刺激と興奮の連続です。史上最もイノベティブな大会に向けて、感覚も常識も異なる人たちが集い、多様な視点を活かした日々の業務はまさに実践ダイバーシティ。通常の行政事務では味わえない貴重な経験と素晴らしい人々との出会いがこの仕事の最大の醍醐味です。



国際競技連盟の方に東京の食文化をご紹介します。(前列右が渡部さん)

大会準備運営第二局会場マネジメント部会場企画課 水野智裕さん（岐阜県・事務職・係長級）

【自己紹介】

岐阜県庁から派遣されている水野智裕と申します。2016年4月から組織委員会に在籍しています。これまで、地方公務員として、比較的多くの分野の仕事をしてきました。

【現在の職場での仕事内容は？】

協定チームに所属し、主に競技会場を借り上げるための契約（会場使用協定）に関わる仕事をしています。IOCとの折衝もありますし、リオや平昌にも出張させていただきました。

【仕事のやりがいは？】

オリンピック・パラリンピックは、単なるスポーツイベントではありません。東京オリンピック・パラリンピックを通じて、日本の良さを再発見する機会になると思います。その意味で、地方自治体としても参加意義のあるイベントです。日々、「前例」のない、社会に変革をもたらすプロジェクトに関わっていると、ひそかに感じています。皆様も、プレーヤーとして参加してみませんか。近い将来、皆様とお会いできる日を楽しみにしています。



リオ・パラリンピック観戦時の様子

輸送局輸送企画部公共交通輸送課 駒見圭祐さん（富山市・土木職・主事級）

【自己紹介】

2016年4月より富山市から派遣されている駒見です。富山市では、市内の公共交通に関わる仕事をしていました。

【現在の職場での仕事内容は？】

観客輸送ルート及びアクセシブルルート（アクセシビリティに配慮した観客の動線）の策定に向けた検討・調整、公共交通ネットワークへの影響検証を行っています。

【仕事のやりがいは？】

自分としては、オリンピック・パラリンピック競技大会という国家的なプロジェクトに携わっているということが一番のやりがいだと思います。その他にも異業種の方々と共に働くこと、いろんな知識や経験が得られることもやりがいだと感じています。



観客の動線となる駅構内の調査をしている様子